

# 令和4年度事業報告書

## 第1 事業の概要

### 1 概要

令和4年(2022)度は、オミクロン株によるコロナ感染拡大、ロシアのウクライナ侵攻、欧米のインフレ加速と景気悪化などにより、先が予想できない展開が続いています。

コロナ感染対策については、年初から春先までは「まん延防止等重点措置」で欧米に比べ脱コロナで出遅れたものの、夏場のコロナ感染拡大が収束した10月中旬には水際対策を大幅に緩和、全国旅行支援の開始と海外からの入国緩和などもあり、ウィズコロナへの移行が始まっています。

2月のロシアのウクライナ侵攻によって、アフリカやアジアの途上国を中心に世界数億人の食料を支えていた両国の穀物輸送が遮断されたことから世界の食料事情は激変しています。同時に、アフリカなどで過去最悪の干ばつが続き、WFP国連世界食糧計画は「第2次世界大戦後、目にしたことがないような大惨事を地域の農業と世界の食糧・穀物供給にもたらそうとしている」と警告しています。

世界的な食料や肥料、エネルギーの高騰は、日本国内の消費者マインドを萎縮させ、さらに、海外経済の減速による世界貿易の鈍化、海外景気の悪化を受けて、日本からのモノの輸出は減少をし続けています。

金融情勢についても、侵攻を契機に歴史的なインフレが世界経済を襲っています。それに伴い金融不安が世界を覆い、令和5年3月にはアメリカの銀行が破たん、また、欧州のクレディースイス銀行は、破たん回避のためスイス政府が介入し他の銀行に買収されるなど、金融不安は終わる気配が見えません。

世界各国の中央銀行は、インフレに対応するため利上げに動いた結果、景気後退の観測が強まっています。為替相場は、年初め1ドル115円台でしたが、3月以降円安が進行し、10月には、一時151円後半と、対ドルで32年ぶりの安値を付けました。日米の金利差の拡大に加え、根底には日本経済の停滞があり、輸出でかつてのように稼げなくなった一方で、海外へのエネルギー依存の高まりで、輸入額が増大し、貿易赤字を通じて、日本のお金が海外に流失しつづけています。

このような国内外の情勢の中、令和4(2022)年の国内水産物輸出は3,873億円と前年より28.5%増加する一方で、水産物輸入は、円安の影響もあり、初めて2兆円を超えています。

令和4(2022)年の北海道漁業生産は、数量が約116万トンと前年に比べて2%減少したものの、海外需要の高まりや円安等の影響によるホタテガイの価格上昇、サケの漁獲増、イワシの価格上昇などによって、金額では約3,182億円と前年に比べ23%増加し、7年ぶりに3,000億円を超える見込みとなっています。

石狩・後志管内の漁業についても、秋サケの記録的大漁と、ニシンの豊漁などにより前年を大きく上回っています。特に、石狩湾漁協では、秋サケ漁獲金額が2004年以降最高の31億円、春ニシンも2600トンを超え、漁業生産量は前年の150%、金額では140%増が見込まれており、これまで各地域で取り組まれている「つくり育てる漁業」の成果が大きく発現した1年となりました。

石狩湾新港の2022年の入港隻数は、1,361隻（前年比91.0%）、取扱貨物量で約545万トン（前年比87.4%）と国際情勢の影響で減少しました。特に、林産品は大きく取り扱い数量を減らしたものの、農水産品の中で水産品は前年と同程度、金属機器工業品は前年を上回っています。外国との貿易は、輸出が開港以来初めて4百億円を超え、輸入額についても開港以来初めて2千億円を超えるなど、地域経済の発展に大きく寄与しています。

当協会については、船舶の航行の安全と漁業被害の未然防止を図る目的で平成2（1990）年から石狩湾新港沖に沖灯標を設置していましたが、リース期限終了に伴い、7月に引揚撤去しています。これまでも協定航路及び操業漁場図を表示したカレンダー配布などで漁業被害の未然防止に努めてきましたが、残念ながら8月に積丹町沖合のタコ空釣り縄漁業で漁具被害が発生し、救済助成金を認定しています。

基本財産の運用については、円相場が一時、対ドルで32年ぶりの安値を付けるなど、為替や債券価格、株価が大きく変動する年でしたが、事業計画において確実、安全な運用収入を見込んだこともあり、経済情勢が激変する中で計画を上回る収益を確保することができました。

## 2 事業の内容

### （1） 救済助成事業

石狩湾新港及び小樽港に入出港する船舶による原因者不明の漁業被害が、令和4年8月3日に1件発生し、9月26日に審査会（審査員12名、書面審査）で審査し、救済助成金を認定しています。

今後も引き続き「協定航路」の遵守を徹底するなど安全対策を積極的に推進し、船舶の航行の安全と漁業被害の未然防止に努めます。

発生年月日	令和4年8月3日
発生場所	積丹町沖合
漁業種類	タコ縄漁業
所属漁協	東しゃこたん漁業協同組合
被害金額	255,101円
救済助成金	255,000円

### （2） 漁業操業安全対策事業

ア. 石狩湾新港に入出港する船舶の航行と漁業操業の安全を確保するため、協定航路及び操業漁場図を表示したカレンダー（900部）を作成し、漁業関係並びに船舶関係等65団体に配布して、その周知徹底を図りました。

イ. 沖灯標が良好な状態で機能するよう適切な維持管理に務めました。6月に10年間のリース期限が終了したことから、7月に引揚撤去を行い廃止しました。